

6. 中心市街地の活性化とは

【1日に6,000人の人が(1時間以上)街を歩くこと】



閑散とした商店街



活気のある商店街

前提条件

1. 賑わっている状態 = 16m^2 に一人が歩いている
2. 中心市街地の通りの面積 = $8,000\text{m}^2$ ($4\text{m} \times 2,000\text{m}$)
3. 常時500人が歩いている
4. また、2割は店内にいる
5. 一人あたりの滞在時間 = 1時間
6. 10:00 ~ 20:00 の10時間

すなわち、

1日に6,000人が中心市街地に繰り出せば街はにぎやかになる

※歩く時間を30分にすると、出てくる人数は12,000人(2倍)必要となる

では、1日の来街者を6,000人に近づけるのは可能か

■ 定住人口8,000人

⇒そのうち4割の人が週に2回街に出ると900人/日

■ 働く人23,200人、通学者800人 (平成18年事業所・企業統計調査)

⇒そのうち2割の人が週2回街に出ると1,400人弱/日

■ イベント

⇒自主イベントや、定期的なイベントの開催も含め700人

(参考) 佐賀城下ひなまつりは45日間で90,000人(2,000人/日)

H17~22の5年間で当面一日3,000人が歩くことを目標とする